

広報

たっご

2024

令和6年12月号



各校区・集落、熱戦!

町制施行50周年記念

龍郷町民体育大会

第204号 議会だより

町制施行50周年記念

宝さがしゲーム開催中!

登録してね!

龍郷町
公式Instagram



龍郷町
公式LINE



町制施行50周年記念

龍郷町民 体育大会開催

総合優勝は

7年ぶり赤徳校区

10月20日(日)、龍郷町中央グラウンドにて町制施行50周年記念龍郷町民体育大会が開催されました。当日早朝には大雨が降り、開催が危ぶまれましたが、その後は天気も持ちこたえ、笑顔あり、真剣勝負ありの町民体育大会となりました。

大会の様子は、龍郷町公式YouTubeに動画にアップしています。是非ご覧ください。



おめでとうございます!



校区総合 優勝: 赤徳 2位: 大勝 3位: 戸口

校区女子 優勝: 赤徳 2位: 大勝 3位: 戸口

校区男子 優勝: 赤徳 2位: 大勝 3位: 戸口

集落の部 <Aパート> 優勝: 芦徳 2位: 幾里 3位: 大勝
<Bパート> 優勝: 円 2位: 手広 3位: 秋名

新記録 高齢者グラウンドゴルフ: 龍郷 [記録16]

11月 2日 婚活イベント「sunset 婚活」開催



龍郷町赤尾木にあるアイランドダイナーグリグリにて、龍郷町主催の婚活イベント「sunset婚活」が行われました。

龍郷町では晩婚化や生涯未婚率の増加が少子化の要因の一つであると考え、結婚の前段となる独身男女の町内での出会いの場の創出を試みており、婚活イベントは今回で2回目の開催となりました。島内各地から男性11名、女性11名計22名が参加。当日はFMたつごうによる司会進行のもと、自己紹介タイムやモルックゲーム、バーベキューを楽しみました。会の終わりにはマッチング投票を行い、2組のカップルが誕生し、町内飲食店のペアチケットをプレゼントしました。

参加者からは「モルックをやってみたかった。いい機会なので参加しました」「なかなか出会いの機会をつくることのできないため参加しました」「緊張もありましたが、楽しめました」との声がありました。

11月 5日 源元 淳也監査委員 表彰



長年の町監査委員としての功績により、源元 淳也氏が全国町村監査委員協議会から表彰を受けられました。源元氏は現在、龍郷町の監査委員を7年務められています。

TATSUGO TOWN TOPICS
龍郷町の話題

10月 12-13日 防災講演会を開催



鹿児島県防災アドバイザーの井村 隆介先生を講師に招き、「みんなが考える防災」をテーマとした防災講演会を開催しました。12日(土)の講演会は円小学校の児童、保護者、教職員、集落住民など約40名が参加、13日(日)の講演会には秋名・幾里集落住民や消防団員など約50名が参加し、「自助・共助」による防災について学びました。

問 役場 総務課 ☎0997-69-4511

10月 21日 「木の日」を中心とした要望活動



10月8日の「木の日」に因み、大島地区林材協会から地元産木材の利用推進について、「木の良さのPR」「公共建築物への利用促進」「県産材木製品の利用」など大きく5つの要望がありました。龍郷町でも積極的に地元産及び県産木材の利活用に取り組みます。

※掲載内容については、質問者が質問と答弁を要約し、龍郷町議会だより編集委員会が編集したものです。

令和6年 第3回定例会

一般質問

一般質問とは各議員が住民の代表として、町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、町当局の考え方や疑問点をたずねることです。単に疑問を解消し、事実関係を明らかにするだけでなく、現行政策の見直しや新規政策を提言する議員の重要な活動です。本町議会の質問時間は、1人60分以内となっています。

P5

えんやま かずあき
圓山 和昭 議員

- ・財政について
- ・教育行政について
- ・福祉行政について

P6

いじゅういん いわお
伊集院 巖 議員

- ・農業振興について
- ・指定管理施設について
- ・島育ち産業館について

P7

くほまこと
久保 誠 議員

- ・住民サービスについて
- ・職員採用について
- ・教育行政について
- ・駐在員制度について

P8

とくなが よしろう
徳永 義郎 議員

- ・戸口港湾での公衆トイレ設置について
- ・地域資源の活用について
- ・第6次龍郷町総合振興計画について

P9

まえしま かつゆき
前島 克幸 議員

- ・教育行政について
- ・福祉行政について

P10

はせば よういちろう
長谷場 洋一郎 議員

- ・龍郷町男女共同参画推進総合計画について
- ・龍郷町地域女性団体連絡協議会について
- ・河川愛護運動中の河川作業の必要性について

P11

くまもと みこ
隈元 巳子 議員

- ・主要地方道名瀬・竜郷線の秋名～大熊間の整備について
- ・災害時の停電対策について
- ・子どもたちの給食費無償化について

P12 議決結果



丸山 和昭 議員

財政について

問 財政状況の推移と今後の見通しは。

答(町長) 基金等の充当可能財源が将来負担額を上回っているため、将来負担比率は算定されていない。実質単年度収支においても令和5年度は実質収支ともに黒字を計上している。今後については公共施設の老朽化対策に取り組む必要や少子高齢化による人口減少等も勘案し施設の集約化・統合も視野に入れ健全な財政運営を行っていく必要があると考えている。

教育行政について

問 小中学校給食費無償化に向けての見通しは。

答(町長) 子育てが安心してできる龍郷町を公約にしている。令和7年度から小中学校の給食費を無償化

にしていきたい。

答(教育長) 食育の大切さについて、今後さらに力を入れて、できる限りの地産地消などを踏まえながら、子ども達の心と体の健全育成に取り組んでいきたい。

答(副町長) 約4、100万円の経常経費となりますが基金繰り入れ等、特定財源を充当するなどして、經常収支比率が伸びないように財源を検討していく。

問 小中学校の修学旅行費補助の増額は考えられないか。

答(教育長) 現在、小学生一人あたり2万円、中学生一人あたり3万3千円を補助しており、友好都市である菊池市に宿泊する場合はプラス5千円となっている。今後も費用が増加するようであれば、検討が必要と考えている。

問 国際交流促進覚書(MOU)を締結した「さつま町」も友好都市同様にできないか。

答(教育委員会事務局長) 制度の中に「友好都市」とありますので、児童生徒の交流が生まれるのであれば今後検討していく。

問 中学校在り方検討委員会の報告を受け、今後の対応は。

答(教育長) 「龍郷町立中学校在り方検討委員会」は昨年11月に委員17名にて立ち上げ生徒の学校教育環境の充実を図るため、少子化問題や学習面、部活動面などの教育環境を踏まえて議論を深めてきた。

問 町長の方針は。

答(町長) 今回の検討委員会の提言のとおり、各学年2クラス編成が可能となる、3つの中学校を1校に統廃合する方針で地域に理解を得ていきたい。

答(教育長) 町長の方針が示された。地域、校区での丁寧な説明を行っていく。今後は校名・校歌・校



中学校在り方検討委員会

訓・制服、そして教職員の人事の調整など色んな課題があるが、できるだけ早い段階で子ども達の学校教育環境を整えていきたい。

福祉行政について

問 保健福祉センター整備計画の進捗状況は。

答(町長) 方針案では、龍郷モデルの複合施設として新築ということだったが、金額等のこともありリノベーションと変更になった。現在は、平面図を作成し補助金を模索している。

問 温泉源の活用方針は。

答(企画観光課長) 保健福祉センターの改修費用・温泉掘削費用の初期投資額、維持管理にかかる人件費や光熱費、修繕費等の試算はできている。年間の収支赤字額と赤字額を圧縮するために入浴の利用料を増額した2パターンのアンケート項目を作成中であり、年明け1月に改めて全戸配布しての町民アンケートを実施して最終判断することになると思う。



伊集院 巖 議員

農業振興について

問 イノシシの被害状況と対策を講じた効果は。

答(町長) 芦徳・戸口地区においてはサトウキビやバナナ、冬瓜など路地作物の被害報告があり、農作物への被害は深刻な状況となっている。そのため緊急措置として7月から皮膚病を発症しているイノシシに対し1頭当たり5千円上乗せして買取を行っているところで、8月末時点で既に151頭の買い上げ頭数の実績を上げており、個体数を減らす取り組みの効果が現れているものと考えられる。

問 人家の庭先や通学路近くでイノシシが出没し、人的危害が懸念されるが対策は。

答(町長) 人への危害の報告は入ってきていないが、緊急的な対策については現段階では考えていない。

今後も町猟友会による有害鳥獣捕獲対策を重点的な取組として推進し、住宅へのイノシシの侵入防止に努めていく。

問 建設を予定している堆肥センターの進捗状況と原料の確保はどのようなになっているか。

答(町長) 堆肥センターについては、本茶牧場に隣接する用地に、既に造成工事が完了している。建屋については、今年度に奄振事業により整備予定の敷料生産施設に併設することとなっており、来年度着工し完成を目指している。原料の確保については、敷料を利用する畜産農家を中心に、牛糞の提供について既に賛同を得ている。

問 地域振興公社の運営状況は。

答(町長) 令和5年度実績として、農地の賃貸借を581a契約しており、そのうちサトウキビの栽培を427a、カボチャの栽培を60a行っている。その他に農家からの受託作業が138件あり、耕耘作業及び農薬散布などの受託作業を行っている。

指定管理施設について

問 指定管理している「りゅうくう館」の運営状況は。

答(町長) 令和4年4月1日より3年間、指定管理者制度によりASA奄美スポーツアカデミーに管理運営を委託している。

令和5年度の実績として、利用者数は延べ29,921人で、令和4年度と比べて601人増加している。また、自主事業として未就学児サッカーフェスティバル、ASAフリーマーケットなどのイベントを年数回開催して約800人を動員するなど、りゅうくう館の利用活性化を図っていくよう努めている。

島育ち産業館について

問 島育ち産業館の運営状況は。

答(町長) 令和4年度から「むらおこし事業実行員会」事務局を移設し、町職員1名を派遣している。また、翌年度からは「むらおこし事業実行委員会」が管理運営し、業務については、主に地場産品の販売委託・商品生産のための加工研修室の貸出、宅配便への集荷受付などの他、レン

タサイクル事業や島外物産展へ参加するマーケティング事業・セールス事業などを担っている。

問 島外の物産展へ出品しているが、収支状況と効果は。

答(町長) 「さつま町農業祭」と「産業フェアしずおか2023」に参加出品し、収支についてはマイナスとなるが、物産展に参加することにより、本町をPRすることができるほか、出店をきっかけに販路拡大やふるさと納税・関係人口の創出に繋がるものと考えている。



物産展の様子



久保 誠 議員

住民サービスについて

問 人口動態について。

答(町長) 第6次龍郷町振興計画の中で「推計人口」とあるが、人口減少、少子高齢化が続く中、本計画の最終年度となる令和15年における総人口は、約5,500人となることとが推計されている。本計画に基づく取り組みの推進により、合計特殊出生率の向上や家族世帯の移住施策、若年層の転出超過を改善することで、できるかぎり人口減少を緩やかにしていくとともに、人口減少したとしても、誰もが住み慣れた地域での生活を継続できる町づくりに取り組んでいく。

問 住民異動届について。

答(町長) 令和5年・6年現在までを比較した場合、転入数はあまり変わりがなく、転出数は減少傾向である。

問 字変更について。

答(町長) 字の変更となれば、地権者全員からの承諾が必要で、様々な手続きが必須となる。現在の字名が不都合であり、地権者全員からの承諾書が提出されたら、前向きに検討したい。

職員採用について

問 専門職員の採用状況は。

答(町長) 本町の専門職員は、保健師・管理栄養士・保育士を採用しているが、採用試験においては、他に建築士・土木職を募集しているものの、応募者がいない状況である。

問 各種資格保有者やスポーツ等で高い実績の保有者に対する「特別選考」による採用は考えられないか。

答(町長) 龍郷町職員の任用に関する規則により、原則、競争試験の結果に基づいて行っていく。

教育行政について

問 学校における福祉教育の取り組み状況は。

答(教育長) 各学校では、生活科の学習や「総合的な学習の時間」の中で、「人と触れ合うこと」とおし

命を大切に、人権を尊重する思いやりのある子を育てる」教育を推進している。

小学校における取り組みとして、愛寿園・星の園・秋名の郷等でのお年寄りとの交流・ボランティア活動、中学校では福祉体験活動等とおしどのように寄り添い、どのような社会になればみんなが暮らしやすい世の中になるかを学んでいる。

また、大島特別支援学校との交流活動で、お互いを尊重し合う大切さを学び、教育課程以外の取り組みとして、青少年赤十字活動に5校が加盟し、命と健康の大切さ、地域のために奉仕する心も育んでいる。

福祉教育については、すべての人々の生き方にかかわる教育活動であり、意図的・計画的に推進していく必要があると考えている。

問 ふるさと教育の内容とその取り組みは。

答(教育長) 本町では、伝統文化や歴史等とおして郷土に誇りを持ち、社会づくりに貢献できる子供たちの育成を目標に掲げ、それぞれの学校で取組んでいる。学校においては、島唄、島口、八月踊りとおし

て島の伝統文化に触れたり、サトウキビ作りや稲作活動をおして、昔から伝えられてきた行事を学んでいる。また、キャリア教育の一環として、全小中学校で「夢授業」を実施し、保護者を中心に自分の仕事の魅力ややりがいを教えてもらうことで、島で働くことの意義を学んでいる。

駐在員制度について

問 駐在員制度の現状と今後の課題は。

答(町長) 近年、駐在員も含め集落運営を支え協力する担い手不足は深刻であり、1人で数役をこなすケースも見受けられるが、今後は更にこの状況が拡大することが予測されることから、他の自治体の取り組み事例等も参考に早急に協議したいと考えている。

令和6年 12月号	教育民泊	トピックス	議会だより	お知らせ	採用情報	りゅうがく館 だより	町のうごき	わきやシマの 玉黄金
--------------	------	-------	-------	------	------	---------------	-------	---------------



徳永 義郎 議員

戸口港湾での 公衆トイレ設置について

問 戸口港湾ではトイレがなく、地域行事や観光客、遊漁船の利用者など多くの方々が不便をしているが、早急な公衆トイレの設置はできないか。

答(町長) 現在、町内では港湾漁港で4箇所にトイレがあるが、その管理は、それぞれ地元の団体等へ依頼しており、当時、戸口港湾についても管理について集落へ依頼したが、その調整がうまくいかなかった。トイレの整備については、財源の確保はもとより利用者数の調査、完成後の管理人の設定などが必要となることから、設置にあたっては、それらを十分調査したうえで検討していく。



戸口港

地域資源の活用について

問 人材バンクの活用はどの様になっているのか。

答(町長) 令和3年第4回定例会にも、議員から人材バンクに関するご質問があり、教育委員会において「職種人リスト」を作成する方針である事を答弁した。人材の活用については、これまでの業務経験や趣味で身につけた専門的知識や技術を町民や学校等の要請に応じて活かせるように、既存の制度であるシルバー人材センターや生涯学習講座の仕組みを活用していく。

第6次龍郷町 総合振興計画について

問 基本構想の土地利用の方針で、農用地、森林・緑地、住宅地、工業用地を計画的に利用するための課題は。

答(町長) 住宅地については、未利用宅地が課題で、空き家・空地の有効利用について、高齢者や町外在住の出身者向けに啓発活動を行っているが、有効利用が進まない背景には相続未登記や管理者不在の問題がある。

また、虫食いの住宅地開発や無秩序な工業用地開発への対応として、都市計画による用途指定や立地適正化計画による居住誘導区域の設定があるが、現在のところ町内において問題となるような事案は把握していない。

問 基本計画の重点プロジェクトについて、すでに効果が出ているものや今後の課題は。

答(町長) 比較的取り組みやすいものとして、「伝統文化の魅力発信」で、すでに町公式SNSやYouTubeによる動画発信で観光PR

動画や八月踊り、町のイベントなどの情報を発信している。

また、今後の課題では、町民アンケートで満足度が低かった「雇用創出」「道路・公共交通」「住宅の整備」などが挙げられ、特に住宅対策は、「住みたいのに家がない」「町内事業所で雇用する従業員の住居を探している」という声も聞きますので、雇用対策という側面からも、住宅確保については、官民連携の取り組みも必要がある課題だと考えている。



第6次龍郷町総合振興計画



前島 克幸 議員

教育行政について

問 本町の小学校の加配教員は、どの教科に配置されているか。

答(教育長) 文科省では、小学校高学年の「教科担任制」を推進するために加配教員の増員を進め、教員の長時間労働の是正、働き方改革を加速させる狙いもある。本町では、4年前から龍郷小に外国語の加配教員、2年前から円小学校に理科の加配教員を配置し、隣接する複式学級のあ



専科授業風景

る小学校の5・6年生の理科・外国語の教科の充実を図っている。

問 専科指導するべき教科として、「外国語」「理科」「算数」「体育」を挙げているが、今後、算数、体育など、また、小学校の中学年(3・4年)の取り組みは。

答(教育長) 2022年教科担任制を取り入れて非常に成果が出てきたため、2025年より3・4年生まで広げようと話が出て、非常にいいことだと思う。ただ懸念されるのが、教員不足で子供たちのことを考えると専門性の高い教員が教えることになるので、いいシステムになると思う。

問 加配のない小学校での独自の教科担任制は、どの程度行われているか。

答(教育長) 学校独自の取り組みとして、3年生以上を中心に支援学級の先生も協力して理科、社会、音楽で教科の専門性の高い先生が授業をしている。また、教頭先生も授業に入って質の向上や空き時間を増やして授業の準備に充てるなど積極的に取組成果も上がっている。

問 中学校教職員の専門性を生か

した小学校での授業は考えられないか。

答(教育長) 中学校から小学校への乗り入れ授業は実施していないが、本町ではI R研修に取り組んでいる。中学校校区ごとにチームを作り、チーム内の小中学校を訪問しながら授業改善を図り、校種や教科の垣根を払い研修で専門性の高い中学校の教員からのアドバイスなどで学び続ける教師集団作りに役立っている。

福祉行政について

問 本町の福祉施設や介護事業所・保育所での人材不足を把握しているか。

答(町長) 令和5年2月に町内の13事業所にアンケートを実施した。11事業所で不足していて、職種は介護職、保育士、指導員、社会福祉士などの回答であり、今後、全事業所の人材が不足していくという結果が出ている。

問 人材不足は確認しているとの事であるが、看護の学生は病院奨学金を利用して資格を取ってその病院に勤めると奨学金を返さなくてもい

いという制度があるが、町内の事業所と一緒にそのような制度、又は何か取り組んでいる対策などはないか。

答(町長) わが町は、福祉の町と言われており大変な課題だと思っている。次のステップとして、子供達が龍郷町に就職したら返済の減免などという施策も町民の皆さんの理解が得られれば考えていいのではと思っ

ている。さらに、町内に住宅不足があり各事業所で住宅を整備する補助金や家賃の補助も考えていく必要がある。

問 具体的に、今、町内の事業所との連携、話し合いの場があるのか。

答(副町長) 場内で福祉人材育成プロジェクトを立ち上げ、奨学金軽減や住宅補助など意見が出たが、今保留状態で、今後検討していく。



長谷場 洋一郎 議員

龍郷町男女共同参画推進 総合計画について

問 本計画の目指すものは。

答(町長) 性別にかかわらず一人ひとりの人権が尊重され、「誰もが夢や希望をもって、多様な生き方を選べる」ことができる地域、「誰もが個性と能力を発揮でき、責任を分かち合い、支えあえる地域」「誰もが安心・安全に暮らすことができる地域」の3つを、目指すべき地域の姿としている。

問 本計画の特徴は。

答(町長) 新計画は4つの個別計画を統合した「総合計画」となっているほか、奄美大島4町村が連携・協力して広域的に策定しており、本町の行政計画において初めての試みとなっている。

龍郷町地域女性団体連絡 協議会について

問 協議会の組織概要と年間活動計画は。

答(教育長) 「女性の文化生活と地域向上を図り、連携意識を高めながら社会奉仕と明るい町づくりに寄与する」ことを目的に掲げ、これに賛同する単位女性団体、及び個人によって組織されている。町民体育大会をはじめ、様々な行事や社会教育研修会等へ参加している。

問 協議会の将来展望は。

答(教育長) 現時点では全20集落の単位団体が加盟しているが、会員数も減少傾向にあり、各集落での会員確保が課題となる。

問 マスゲーム(女性集団演技)の在り方は。

答(教育委員会事務局長) 昨年からは男性や子供も参加している。今年からはプログラム名を「マスゲーム」から「町民創作ダンス」へと変更し、老若男女を問わず多くの町民が参加できるように取り組んでいく。



町民創作ダンス

河川愛護運動中の河川 作業の必要性について

問 各集落の実施状況は。

答(町長) 12集落から実施の報告があり、延べ5,230mで河川の雑草、及びごみの除去作業を行っている。

問 河川作業の必要性と課題は。

答(町長) 良好な河川環境の保全を図ることが目的である。課題としては参加人数の減少と、作業中の安全の確保である。

問 県や町が管理する河川での作業をシルバー人材センターや業者へ委託できないか。

答(建設課長) 県が管理する2級河川取付道路等の作業依頼は、県へ要望できる。町が管理する河川作業

が集落で行き届かない場合は、町の方から業者への委託は可能である。



河川作業

問 本町では河川での有機フッ素化合物(PFAS)の調査を行っているか。

答(町長) 町が管理する河川において、調査は実施していない。

問 環境省は令和5年度から、自治体の調査結果を取りまとめて公表している。令和4年度の調査は1,258地点で行われ、111地点で国の基準を超えている。環境省と国土交通省は都道府県や事業所などに対して9月末までに状況を報告するように求めているが本町の対応は。

答(生活環境課長) 今年度水質管理51項目とは別に、目標設定項目として中勝・龍南2浄水場の調査分析をした。結果は国が定める暫定値以下であった。25年度以降は町内に11ある水源施設を年2〜3ヶ所のペースで調査を継続する。



隈元 巳子 議員

主要地方道名瀬・竜郷線の 秋名〜大熊間の整備について

問 奄美市との調整も必要になるが、本路線でのトンネルの協議状況は。

答(町長) 主要地方道名瀬・竜郷線の秋名〜大熊間のトンネルの整備状況については、これまでに幾度となく質問があった。

これまで奄美市と連名で鹿児島県知事への要望書の提出や奄美群島市町村議員大会、各種協議会でも要望書を提出しているが、改良事業として採択されていない現状。

トンネルの整備は、荒波地区の活性化には欠かせないものであると認識している。

問 県道となるが、県への要望状況は。

答(町長) 道路を管理する県において、大規模な事業となること

予想されるため、他の事業の進捗状況を見ながら、必要性や熟度などを総合的に勘案し、検討していきたいとのこと。

引き続き整備実現に向けて要望活動を継続して参りたいと考えている。

災害時の停電対策について

問 台風時に停電が発生した際、秋名、幾里集落は最後の復旧となっているが、電流配線はどこからなのか。

答(町長) 秋名・幾里集落への送電について確認したところ、秋名・幾里集落は、通常、名瀬発電所からの送電で、名瀬発電所からの電線路に障害が発生した場合には、竜郷発電所から送電できる系統となっている。

しかし、台風等によって、名瀬発電所からの電線路に多数の障害が発生し、さらに、竜郷発電所からの送電も困難な場合には、停電の復旧に遅れが生じるようである。

問 配線改善等、電力会社への要望はできないか。

答(町長) 台風被害による停電の早期復旧については、赤尾木地区な

ど、町内の他集落からも同様の要望があり、九州電力送配電(株)に対し、これまでも何度かお願いをしてきているが、改めて、対策を図るよう要望を継続していく。

子どもたちの給食費無償化について

問 昨日の同僚議員からの給食費無償化の質問で、町長は来年度から給食無償化にするとの答弁であったので、私の方からの再質問はしないが、これを機会に子どもたちへの食の大切さや、安心安全な食への関心を持つたら幸いで、給食の食材も地産を使用しているが、願わくは、オーガニック給食へ少しでも近づいていくことに期待している。

あなたも議会を
傍聴してみませんか？

次の定例会は12月
を予定しています。

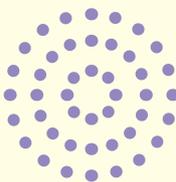
場所：龍郷町役場2階
当日は受付用紙に住所氏名
を記入するだけです。



一般質問は

「エフエムたつごう」78.9MHz

でお聴きいただけます。



これまで一般質問の内容を、防災行政無線個別受信機にて放送していましたが、現在はエフエムたつごうにてライブ放送しています。

議決結果

第3回臨時会ではこんなことが決まりました

議案番号	議案の件名	議決結果	
第36号	令和6年度 龍瀬へき地保育所新築工事請負契約の締結 老朽化及び地域子育て支援拠点施設並びに一時預かり機能を兼ね備えた施設を整備する新築工事を、赤穂産業（株）（代）豎山 兼二朗氏と契約	原案可決	全会一致
第37号	令和6年度海岸施設保全工事（玉里地区海岸）1工区請負契約 玉里地区護岸施設整備を、竹山建設（株）（代）竹山 博昭氏と契約	原案可決	全会一致
第38号	令和6年度 赤穂小中学校屋内運動場 長寿命化改修工事請負契約の締結 体育館の長寿命化対策を、共栄開発工業（株）（代）永田 正氏と契約	原案可決	全会一致
第39号	令和6年度龍郷町一般会計補正予算（第2号） 補正額1,635万円 子牛価格低迷における臨時的支援措置、カイガラムシ被害防止対策、青少年育成費旅費など	原案可決	全会一致

教育民泊

トビックス

第4回臨時会ではこんなことが決まりました

議案番号	議案の件名	議決結果	
承認 第7号	令和6年度龍郷町一般会計補正予算（第3号） りゅうゆう館文化ホール照明制御機器に不具合が生じ、早急な対応が必要のため専決処分した。1億2,000万円補正増	原案可決	全会一致
第40号	令和6年度りゅうゆう館文化ホール調光制御盤改修工事請負契約の締結 文化ホールの照明等を制御する電気基盤の製作・取替工事を、 （株）舞研（代）原 大吾氏と契約	原案可決	全会一致

議会だより

お知らせ

第5回臨時会ではこんなことが決まりました

議案番号	議案の件名	議決結果	
日程第2	議長の選挙 選挙の方法を指名推薦にし、議長に平岡 馨議員を指名		全会一致
追加日程 第1	議席の指定 新たな議員の改選により、議席を着席のとおり指定する		全会一致
追加日程 第4	副議長の選挙 選挙の方法を指名推薦にし、副議長に伊集院 巖議員を指名		全会一致
追加日程 第5・6	常任委員の選任・常任委員長及び副委員長の互選結果の報告、及び議会運営委員の選任 新たな議員の改選により、常任委員の選任。 総務厚生常任委員長 圓山 和昭議員、副委員長 隈元 巳子議員 委員 前田 豊成議員、前島 克幸議員、平岡 馨議員 経済建設常任委員長 長谷場 洋一郎議員、副委員長 得田 要一議員 委員 徳永 義郎議員、久保 誠議員、伊集院 巖議員 議会運営委員長 伊集院副議長、委員 圓山総務厚生常任委員長、 長谷場経済建設常任委員長、隈元総務厚生常任副委員長、 得田経済建設常任副委員長の5名		全会一致
追加日程 第7	一部事務組合の選挙 選挙の方法を指名推薦にし、 大島地区衛生組合議員に、徳永 義郎議員、久保 誠議員 大島地区消防組合議員に、長谷場 洋一郎議員 奄美大島地区介護保険一部事務組合議員に、前島 克幸議員を指名		全会一致
追加日程 第8 (同意第3号)	監査委員の選任 議選監査委員として、徳永 義郎氏	原案可決	全会一致

採用情報

りゅうゆうがく館
だより

町のうごき

わきゃシマの
玉黄金

9月定例会ではこんなことが決まりました

議案番号	議案の件名	議決結果	
第41号	龍郷町ひとり親家庭医療費助成条例の一部を改正する条例 児童手当法施行令の改正による一部改正	原案可決	全会一致
第42号	龍郷町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例 省令に基づき、条例の一部改正	原案可決	全会一致
第43号	令和6年度龍郷町一般会計補正予算（第4号） 1億4,707万8千円補正増額し、総額71億8,465万9千円としました。 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業、治山事業、学校管理費、社会体育費など	原案可決	全会一致
第44号	令和6年度龍郷町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第2号） 1,301万4千円補正増額し、総額8億2,449万4千円としました。 保険給付費など増額	原案可決	全会一致
第45号	令和6年度龍郷町介護保険事業特別会計補正予算（第1号） 1,764万6千円補正増額し、総額8億2,439万3千円としました。 償還金や介護給付費準備基金積立金など増額	原案可決	全会一致
第46号	令和5年度龍郷町水道事業会計利益の処分及び決算の認定 収益的収入3億2,836万2千円、収益的支出2億4,162万6千円で、消費税を抜いた差引利益は8,673万6千円、資本的支出では1億5,749万3千円で、不足する収入は、損益勘定留保資金等から補てん	原案可決	全会一致
第47号	令和5年度龍郷町下水道事業会計利益の処分及び決算の認定 収益的収入1億5,244万9千円、収益的支出1億4,331万7千円で、消費税を抜いた差引利益は893万2千円、資本的支出では2,818万9千円で、不足する収入は損益勘定留保資金等から補てん	原案可決	全会一致
第48号	財産の取得 消防ポンプ自動車（赤尾木班）購入を、(株)KSB（代）種子田 浩市氏と契約	原案可決	全会一致
第49号	財産の取得（追認） 町内小学校の教師用教科図書・指導書取得を、(株)楠田書店（代）楠田 太平氏と契約	原案可決	全会一致
認定第1号	令和5年度龍郷町一般会計歳入歳出決算 歳入総額69億2,947万7千円、歳出総額67億1,324万8千円で、歳入・歳出を差し引いた形式収支及び翌年度に繰り越す財源を差し引いた実質収支から、基金積立金を加えた実質単年度収支は361万9千円の黒字	原案可決	全会一致
認定第2号	令和5年度龍郷町国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算 歳入総額7億5,033万6千円、歳出総額7億4,483万円で、歳入・歳出を差し引いた実質収支は550万6千円の黒字	原案可決	全会一致
認定第3号	令和5年度龍郷町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算 歳入総額1億710万3千円、歳出総額1億608万4千円で、歳入・歳出を差し引いた実質収支は101万円9千円の黒字	原案可決	全会一致
認定第4号	令和5年度龍郷町介護保険事業特別会計歳入歳出決算 歳入総額7億8,461万7千円、歳出総額7億8,383万7千円で、歳入・歳出を差し引いた実質収支は78万円の黒字。	原案可決	全会一致
同意4号	龍郷町教育委員会委員の任命 山田 隆博氏（再任）	原案可決	全会一致
同意5号	龍郷町教育委員会委員の任命 岩切 博文氏（新任）	原案可決	全会一致
諮問2号	人権擁護委員の候補者を推薦するための議会の意見を求める 田畑 留利江氏を、推薦	原案可決	全会一致
	選挙管理委員会委員及び同補充員の選任 委員に、山田 良一郎氏、松田 秀樹氏、別府 ちよみ氏、林 泰弘氏の4名、補充員として、愛川 信三氏、村上 早苗氏、最上 康隆氏、長田 也寸夫氏	原案可決	全会一致
第50号	令和6年度敷料生産施設新築工事請負契約の締結 畜産農家への敷料を提供する施設として整備する新築工事で、ヤマシタ建設（株）（代）山下 福男氏と契約	原案可決	全会一致